



きみたちにおくるうた むすめたちへのてがみ

バラク・オバマ著／ローレン・ロング絵

オバマさんが2人の娘にむけて、かかれた絵本です。本で紹介されるのは、社会に影響をあたえた13人の人物。特別な人だけが大きな力をもっているのではなく、自分も世界を変えられる大切な人間のひとりだということをお子さんに教えることができる1冊となっています。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
みずうみ読書の家 (☎ 75-4702)
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽迷宮の月(安部龍太郎)▽居候之記(澤田幸和)▽インビジブル(坂上泉)▽線は、僕を描く(砥上裕将)▽すべて忘れてしまうから(燃え殻)▽マイ・ストリー(ミッシェルオバマ著)▽長尾莉沙・堀切さとみ訳)△**児童書**▽小公女(フランシス・ホジソン・エリザバース・ホジソン著/高樓方子訳)▽新道徳 子どもこころの育て方(稲盛和夫)▽欲が出ました(ヨシタケシンスケ)

■みずうみ読書の家

△一般▽類(朝井まかて)▽帝都争乱(今野敏)▽えにし屋春秋(あさのあつこ)▽心淋し川(西條奈加)▽降るがいい(佐々木譲)▽もう、聞こえない(菅田哲也)▽海蝶(古川英梨)▽テロリストの家▽灯台からの響き(宮本輝)▽我々は、みな孤独である(貴志祐介)

△**児童書**▽火狩りの王(4)星ノ火(日向理恵子著/山田

絵本の玉手箱 12月のおはなし会

■日時 ①1月8日(金)14時～15時②12月14日(月)、1月11日(月)10時～11時30分、12月17日(木)14時～15時
■場所 ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館
■問合せ 佐藤(☎ 76-2487)
※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

章博絵)▽くらべてみよう!学校のまわりの外国から来た植物(1)校庭(亀田龍吉)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽終末のフール(伊坂幸太郎)▽バズレシヒ太らないおかず編(リュウジ)▽明日の僕に風が吹く(乾ルカ)△**児童書**▽こすずめとゆき(深山さくら)▽おまえうまそうだな(宮西達也)▽しろとくろ(きくちちき)▽字のないはがき(角田光代)▽給食番長(よしながこうたく)▽みいちゃんがお肉になる日(内田美智子)

地域おこし協力隊



通信

vol.33

今月の
リポーター
西山雄治さん



商

工会が2007年から始めた取り組みである駅前イルミネーションは、J.R洞爺駅構内エレベーター整備工事に伴い残念ながら中止となりました。

われ、歩く道はきれいに整備されていますので、もう少しのあいだ山頂からの素晴らしい景色を楽しむことができますのではないのでしょうか。

一方で、洞爺湖温泉街の冬の風物詩にもなっているイルミネーショントンネルは、今年も11月1日からライトアップされ、約40万個の電球で彩られた、全長70メートルのトンネルと、直径10メートルのドームが幻想的に輝き、日中とは違った温泉街の雰囲気が楽しめます。

雪が降ったり解けたりを繰り返すと足元が悪くなりますが、完全に根雪になっしまえば靴も汚れることなく小規模な冬山登山を味わえます。新緑や紅葉を見ながらの登山も良いですが雪が積もった木々を見ながら雪の上を歩く感触や鼻先に冷たい空気を感ずるのも私は好きです。

以前、何度か紹介した虻田神社敷地内から延びる「龍山道」ですが、平日のこの時期でも散策されている人を結構見かけます。

私も時々、運動とリフレッシュを兼ねて山道を登りますが、初秋に草刈りも行